

## 「蓮ごよみ」の意図

令和4年は、新型コロナウイルス接種が本格化する中、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元首相の国葬等、暗いニュースが多くありました。このような状況下、今年の応募チラシは昨年続き「みんなが元気になる」令和5年の『蓮ごよみ』作りにご協力くださいと案内させていただきました。その結果、写真につきましては、昨年より32%の減、俳句は12%増の応募をいただきました。

また今年もジュニア俳句の応募を期待したところですが残念ながらありませんでした。

写真の審査はご多用な中、林香君(文星芸術大学名誉教授)・大手義雄(栃木県写真家協会理事)・小林治郎(下野新聞社写真部長)の各先生に、俳句の選者は引き続き速水峰郎(下野新聞選者)・五島高資(現代俳句協会オープンカレッジ講師)・辻村麻乃(篠「主宰」)の各先生にお引受いただきました。

今回の写真は、花のアップが多く感じられました。俳句は初めて蓮見舟が詠われ、解り易い十七文字に表現されその努力が窺われました。なお、入賞者の中で、当『蓮ごよみ』に掲載されていない写真と俳句の入選された方は以下の通りです。

「写真」・岩本洋子(宇都宮市)・小川茂(小山市)・小野昌宏(さくら市)・川田雅子(大田原市)・斎藤賢治(宇都宮市)・佐藤浩太(北本市)・佐藤治男(真岡市)・杉本静(那珂川町)・堂前勝雄(鹿沼市)・橋本充夫(宇都宮市)・増川保紀(宇都宮市)・室井敦彦(那須塩原市)・渡辺新一(小山市)・渡辺幸夫(宇都宮市)さんの14名

「俳句」・加茂都紀女(宇都宮市)・熊谷房子(気仙沼市)・小滝威(大田原市)・佐藤美穂(宇都宮市)・助川義晴(宇都宮市)・砂川隆(宇都宮市)・関田和子(宇都宮市)・中村國司(宇都宮市)・中村暢夫(さいたま市)・野島正則(羽村市)・伴瀬泰子(矢板市)・安本賀津子(静岡県函南町)さんの12名  
写真の賞品につきましては、林香君氏・下野新聞社・宇都宮餃子会・サトーカメラさんから、俳句の賞品は、成良由記子氏・下野新聞社・栃木県版画協会からご支援をいただきました。

展示会場につきましてはサトーカメラ本店に於いて表彰式と全作品を展示し、その後、(公財)栃木県民公園福祉協会のご理解をいただき、那須野が原公園・みかも山公園での巡回展示が無事終了しました。

表紙には第16回の最優秀賞作品を、隔月毎に上位入賞の6写真と上位入賞18句の中3句を掲載し、俳句に英訳を併記する事により海外の方にも楽しんでいただけるものと期待をしております。

なお英訳は選者の五島高資先生に、自治医科大学名誉教授の加藤直克先生と同大学教授のレポウィッツ・アダム・ジョン先生に監訳、修正をいただきました。句の書については斎藤洋子氏のご協力をいただき、2ヶ月毎に季節が感じられるよう蓮の写真と蓮の句をコラボした彩り豊かな構成としました。

今回の『蓮ごよみ』の発行に際し地元宇都宮の生福寺・延命院・善願寺・宝蔵寺・祥雲寺・(株)清水造園・宇都宮みんみん・東栄電設(株)・(株)渡辺有規建築企画事務所・(有)南木興産・(有)山口フロント工業・那須烏山市安楽寺さんから協賛をいただきました事に感謝申し上げます。

また、一連の印刷業務にご協力いただきました(株)松井ピ・テ・オ・印刷さんに感謝申し上げます。結びに、第20回栃木花蓮写真展と第7回蓮の俳句大会の開催にご協力、ご支援いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。

来年もこの『蓮ごよみ』が多くのご家庭等において皆様方の癒しとなれば幸いです。



令和四年十一月文化の日

発行：宇都宮城跡蓮池再生検討委員会

会長 塚田 宗雄

令和五年

蓮ごよみ



第16回最優秀賞 安野 茂男 「茎は折れても念力！」 下野市にて



最優秀賞 伊藤 仁一 「ハスの微笑み」  
栃木市にて

## JANUARY

1 睦月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 先負 元日	2 仏滅 振替休日	3 大安	4 赤口 官庁御用始め	5 先勝	6 友引 小寒	7 先負 七草
8 仏滅	9 大安 成人の日	10 赤口	11 先勝 鏡開き	12 友引	13 先負	14 仏滅
15 大安	16 赤口	17 先勝 土用	18 友引	19 先負	20 仏滅 大寒	21 大安
22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝
29 友引	30 先負	31 仏滅				

## FEBRUARY

2 如月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 大安	2 赤口	3 先勝 節分 豆まき	4 友引 立春
5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引 初午	11 先負 建国記念の日
12 仏滅	13 大安 聖ハレンタインデー	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅
19 大安 雨水	20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安 天皇誕生日	24 赤口	25 先勝
26 友引	27 先負	28 仏滅				

宇都宮市長賞  
祈る手のかたち  
に閉づる蓮かな  
closed lotus  
hands in prayer

所沢市 山野邊 茂

龍神の鬚をかすめる蓮の池  
dragon's beard grazing the surface  
of this lotus pond

壬生町 中川 洋子

天守へと虚空を相む蓮の花  
lotus flowers  
looking to grasp the air above the tower

栃木市 渡邊 輝夫



宇都宮市長賞 小林 トミ子 「三姉妹」  
栃木市にて

### 3 弥生

#### MARCH

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 大安 全国火災予防運動	2 赤口	3 先勝 ひな祭	4 友引
5 先負	6 仏滅 啓蟄	7 大安 消防記念日	8 赤口	9 先勝	10 友引	11 先負
12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅 彼岸入り
19 大安	20 赤口	21 先勝 春分の日 春分	22 友引	23 先負	24 仏滅 彼岸明け	25 大安 電気記念日
26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅	31 大安	

### 4 卯月

#### APRIL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 赤口 新学年
2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅 清明	6 大安	7 赤口 世界保健デー	8 先勝 花まつり
9 友引	10 先負	11 仏滅 メートル法 公布記念日	12 大安	13 赤口	14 先勝	15 友引
16 先負	17 仏滅 土用	18 大安 発明の日	19 赤口	20 先負 穀雨	21 仏滅	22 大安
23 赤口	24 先勝	25 友引	26 先負	27 仏滅	28 大安	29 赤口 昭和の日
30 先勝						

下野新聞社賞

蓮池にトトロの傘も混じりせり

mixed-up with the pond lotuses  
is Totoro's umbrella

横浜市 平野嘉昭

足音は蓮押しのけり鯉の口

carp mouths, responding to footfalls,  
push the lotuses aside

宇都宮市 萩原夕美子

風少し葉裏を見せて蓮咲けり

blooming lotuses  
showing some underleaf in the wind

鹿沼市 渡辺加代



宇都宮城跡蓮池 佐藤 治男 「咲き競う」  
再生検討委員会賞 真岡市にて

5 皐月

MAY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1 友引	2 先負 八十八夜	3 仏滅 憲法記念日	4 大安 みどりの日	5 赤口 こどもの日	6 先勝 立夏
7 友引	8 先負 世界赤十字デー	9 仏滅	10 大安 愛鳥週間	11 赤口	12 先勝	13 友引
14 先負 母の日	15 仏滅	16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 仏滅
21 大安 小満	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安
28 赤口	29 先勝	30 友引	31 先負			

6 水無月

JUNE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 仏滅 気象記念日 写真の日	2 大安 横浜開港記念日	3 赤口
4 先勝 歯と口の健康週間	5 友引 環境の日	6 先負 芒種	7 仏滅	8 大安	9 赤口	10 先勝 時の記念日
11 友引 入梅	12 先負	13 仏滅	14 大安	15 赤口	16 先勝	17 友引
18 大安 父の日	19 赤口	20 先勝	21 友引 夏至	22 先負	23 仏滅	24 大安
25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	

優秀賞

散りなほ蓮一ひらの白さかな

whiter from falling,  
a lotus petal on the ground

港区南 節子

黎明の白蓮ひらく息づかひ

white dawn-blooming lotus  
deep breathing

宇都宮市 石塚信子

蓮開く夜明けの星に導かれ

lotus's first opening  
guided by the morning star

宇都宮市 斎藤弘子



下野新聞社賞 根本 文夫 「夏模様」  
土浦市にて

# 7 文月

## JULY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 赤口 安全週間
2 先勝 半夏生	3 友引	4 先負	5 仏滅	6 大安	7 赤口 小暑 七夕	8 先勝
9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口 お盆迎え火	14 先勝	15 友引 お盆
16 先負 お盆送り火	17 仏滅 海の日	18 赤口	19 先勝	20 友引 土用	21 先負	22 仏滅
23 大安 大暑	24 赤口	25 先勝	26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安
30 赤口 土用の丑	31 先勝					

# 8 葉月

## AUGUST

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口
6 先勝 広島原爆の日	7 友引	8 先負 立秋	9 仏滅 長崎原爆の日	10 大安	11 赤口 山の日	12 先勝
13 友引 月遅れお盆迎え火	14 先負	15 仏滅 終戦記念日	16 先勝 月遅れお盆送り火	17 友引	18 先負	19 仏滅
20 大安	21 赤口	22 先勝	23 友引 処暑	24 先負	25 仏滅	26 大安
27 赤口 八朔	28 先勝	29 友引	30 先負	31 仏滅		

船頭の詫びる花数蓮見舟

on the viewing gondola:  
much driver apology with few flowers

佐野市池澤光子

緋目高も楊貴妃もいへ蓮の池

and on the lotus pond we have  
himedaka rice fish and the lady Yang Guifui

宇都宮市田口和司

白蓮のひとは母の影を持ち

among the white lotuses  
one looks like my mother

吾生町戸田富美子



宇都宮城跡蓮池 小川 茂「競艶」  
再生検討委員会賞 下野市にて

# 9

長月

## SEPTEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 大安 <small>防災の日 二百十日</small>	2 赤口
3 先勝	4 友引	5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口 <small>白露</small>	9 先勝
10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 友引	16 先負
17 仏滅	18 大安 <small>敬老の日</small>	19 赤口	20 先勝 <small>彼岸入り</small>	21 友引	22 先負	23 仏滅 <small>秋分の日 秋分</small>
24 大安	25 赤口	26 先勝 <small>彼岸明け</small>	27 友引	28 先負	29 仏滅 <small>十五夜</small>	30 大安

# 10

神無月

## OCTOBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 赤口 <small>法の日 共同募金 労働衛生週間</small>	2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅	6 大安	7 赤口
8 先勝 <small>寒露</small>	9 友引 <small>スポーツの日</small>	10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口	14 先勝 <small>鉄道の日</small>
15 先負	16 仏滅	17 大安 <small>貯蓄の日</small>	18 赤口	19 先勝	20 友引	21 先負 <small>土用</small>
22 仏滅	23 大安	24 赤口 <small>国連デー 霜降</small>	25 先勝	26 友引	27 先負 <small>読書週間 十三夜</small>	28 仏滅
29 大安	30 赤口	31 先勝				

最優秀賞

蓮の実の飛んで賢治のチェロの音

lotus seed flew  
the sound of cello by Kenji Miyazawa

鹿沼市 神山敦子

蓮の実の嬉嬉と飛び出す神の園

lotus seeds joyfully jump  
in God's Garden

さくら市 秋葉サキ

池の面おほひ尽くして蓮は実れ

the lotuses fruited  
after blanketing the pond

伊東市 鈴木玉恵



優秀賞 君島 哲郎 「大霜の朝」  
宇都宮市にて

digging-up lotus root:  
iron bars in mud

蓮根掘る泥の金棒抜くやうに

宇都宮市 岸田雨童

wishing for a war-less world,  
this broken lotus

破蓮や戦ひなき世願ふばかり

富里市 歌代美遥

withered lotus  
shadow of a Bodhisattva on the water

枯木はちす水に浮く影菩薩めく

宇都宮市 伊藤 安

# 11 霜月

## NOVEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 友引 灯台記念日 計量記念日	2 先負	3 仏滅 文化の日	4 大安
5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負 立冬	9 仏滅 全国火災予防運動	10 大安	11 赤口
12 先勝 世界平和記念日	13 仏滅	14 大安	15 赤口 七五三	16 先勝	17 友引	18 先負
19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝 小雪	23 友引 勤労感謝の日	24 先負	25 仏滅
26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負		

# 12 師走

## DECEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 仏滅 映画の日	2 大安
3 赤口	4 先勝 人権週間	5 友引	6 先負	7 仏滅 大雪	8 大安	9 赤口
10 先勝	11 友引	12 先負	13 大安	14 赤口	15 先勝 年賀郵便 特別扱始め	16 友引
17 先負	18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引 冬至	23 先負
24 仏滅	25 大安 クリスマス	26 赤口	27 先勝	28 友引 官庁御用納め	29 先負	30 仏滅
31 大安 年越し 大はらい						

第20回栃木花蓮写真展  
宇都宮餃子会賞 (10作品)



斎藤 賢治『水面の輝き』



青木 由紀子『晩夏の朝』



渡辺 新一『夏を彩る』



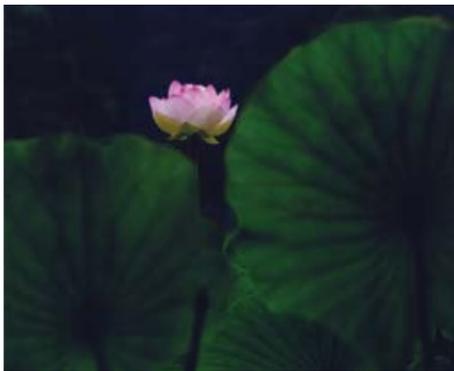
笠原 悦子『受け皿』



小野 昌宏『花の一生涯』



野中 章雄『霜の朝』



関根 正幸『風と戯れて』



橋本 充夫『雨にもまけず』



大岡 博美『神聖』



佐藤 浩太『凜として』

『蓮こよみ』令和4年の取組み

◆みんなが元気に・みんなで作る

当写真展が20年の節目を迎えた今年、未だに終息しないコロナ禍にあり、みんなが元気になる『蓮こよみ』作りにご協力ください。いとチラシで案内したところ。改めてこの20年をふり返ると、平成19年(2007)の第5回栃木花蓮写真展の会場であったNHK宇都宮放送局において、上位入賞写真を活かして何かできないかと思案した結果、蕪村句と写真をコラボしたカレンダーを『蓮こよみ』と名付け、平成20年蓮こよみとして発行しました。

9年後の平成28年(2016)は蕪村生誕300周年を好機と捉え、蕪村号誕生の地宇都宮を冠に蓮の句を公募し掲載句には英訳を併記し新たな『蓮こよみ』として展開しました。そして、写真展節目の20年となる令和4年(2022)では、今後の新たな目標設定として、3年後の第10回の俳句大会は蕪村生誕310周年を機に、『蓮の句集』を発行する事を提案させていただきます。

俳句を介して市民自らが考え、市民手づくりの文化として継続し続ける事が、蕪村号誕生の地宇都宮に生きる市民に課せられた使命ではないかと理解しました。つきましては、このような観点から更なる展開を考えておりますので、引き続き皆様方からご協力とご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。

◆写真選評

今年の花蓮コンテストは昨年に比べ応募枚数が若干減少してやや低調でした。内容的には変化にとんだ作品が多く見られ蓮花本来の美しさを表現したもの、蜂や蝶を点景に捉えたもの、カエルやトンボを捉えた変化にとんだ作品が多く見られました。ただ主題が蓮花であることからややずれた作品が見られるのは残念でした。そんな中で上位6点、カレンダー作品は蓮花本来の美しさと画面構成に優れた作品でした。今年も素晴らしいカレンダーになりました。

◆俳句選評

今年度は応募作品が138句で、昨年123句を若干上回りました。(一昨年は228句)  
最初に入選18句を選びました。応募は一人3句でしたが、3句とも入選レベルの作品が何人もいて、そのため3人の選者がそれぞれ違った句を選んでおり、協議して一句に絞り入選しました。選句には苦労しましたが、いい句に出会えたことは楽しい選考会でした。次に入選句から最優秀賞、優秀賞、市長賞、下野新聞社賞を選びました。最優秀賞は「蓮の実の飛んで賢治のチェロの音」(鹿沼市・神山敦子さん)の作品でした。  
カレンダーに載せるので冬の季節には冬蓮・蓮の骨など冬の句を期待していましたが、やはり夏の花の方が勢いがあったという作品が多く、結果として多く選ばれました。来年もいい作品をお寄せください。

◆今年の英訳について

今回の俳句翻訳は、選者の五島高資先生に英訳いただき、さらに自治医科大学名誉教授の加藤直克先生と同大学教授のレボウイツ・アダム・ジョン先生に監訳、修正いただきました。前回に引き続き、俳人、英語学専門家、そして英語のネイティブによる協議を通して、より適切な国際的な表現となったと考えます。俳句の翻訳は、その詩性を発揮させるべく、日本の伝統文化と外国語表現の整合性を両立させることが不可欠です。そういう意味で、これからの俳句翻訳において、重要な道筋を示したものと考えます。また、それと同時にHAIKUの在り方にもフィードバックされることを期待するところです。